

緊張感持ち毎日作業を
佐藤渡辺の鎌田社長
青森で現場パトロール

佐藤渡辺の鎌田修治社長は、青森県内の東北自動車道で施工している舗装補修工事の現場を7日に安全パトロールした。2025年度全国労働衛生週間（10月1～7日）に関連する取り

組みの一環。原田秀一技術顧問と藤岡勝巳安全環境部部長、東北支店の小川源太郎執行役員支店長と須田寛之工事部長が同行し、安全衛生管理活動と進捗状況を確認した。

現場は「東北自動車道R6青森管内舗装補修工事」（東日本高速道路東北支社青森管理事務所発注）。パトロール当日、青森IC内にある管理事務所では駐車場舗装工事の上層路盤工、本線部は下り線の間瀬川橋で床版上面はつり工（ウオ

ータージェット）を施工していた。

鎌田社長は「当社職員、協力会社とも長きにわたり施工をともにし、いい意味で『慣れ』が生じてきている。そういう時に事故・災害が発生しやすいので毎朝の朝礼などで緊張感を持续するよう指導を徹底してほしい」と指示した。小川支店長は「工事完了まであと少し。最後まで気を引き締めて無事故・無災害で竣工を迎えてほしい」と呼びかけた。



ウォータージェットの現場を
パトロールする鎌田社長（佐
藤渡辺提供）

